

株主の皆様へ

第74期

中間期

2024.4.1 ▶ 2024.9.30

証券コード 2676

Contents

| | |
|-------------|----|
| 私たちこんな会社です！ | 1 |
| 連結財務ハイライト | 2 |
| トップインタビュー | 3 |
| セグメント別の概況 | 5 |
| TOPICS | 7 |
| 連結財務諸表 | 9 |
| 会社の概要・株式の状況 | 10 |



私たちこんな会社です！

高千穂交易は1952年に創業し、これまで世界の先端商品をいち早く日本に紹介してきました。

高い技術力に裏打ちされた当社ならではのトータルソリューションで、皆様の暮らしをより豊かなものにしていきます。

店舗

店舗犯罪対策のソリューションや、業務効率化・省人化を実現するサービスを提供しています。



商品監視ゲート



ネットワークカメラシステム



トラフィックカウンター

- 当社は、全社員の40%超がエンジニア系の社員です。高い技術力が強みで、コンサルティングからお客様の仕様にあわせた設計、設置、障害対応まで、ワンストップでサービスを提供しています。
- 従来のモノ売りからサービス型の販売にシフトを進め、クラウドサービスの販売を強化しています。

オフィス・データセンター

セキュリティ・ネットワークシステムを構築し、オフィスやデータセンターの高いセキュリティ環境を実現しています。



クラウド型統合セキュリティ



クラウド管理型ネットワーク



リモートアクセス



設置・保守サービス



クラウドサービス



MSPサービス

住宅・家庭

自動車やスマートフォン、住宅設備等、身近なところへも導入されており、より快適な社会環境・生活環境を実現しています。



5G通信モジュール



シリコンマイク



引込・衝撃吸収用ダンパー

工場

半導体製造装置等の産業機器向けにお客様の要望に最適な電子部品や機構部品を、技術サポートと共にソリューションとして提供しています。



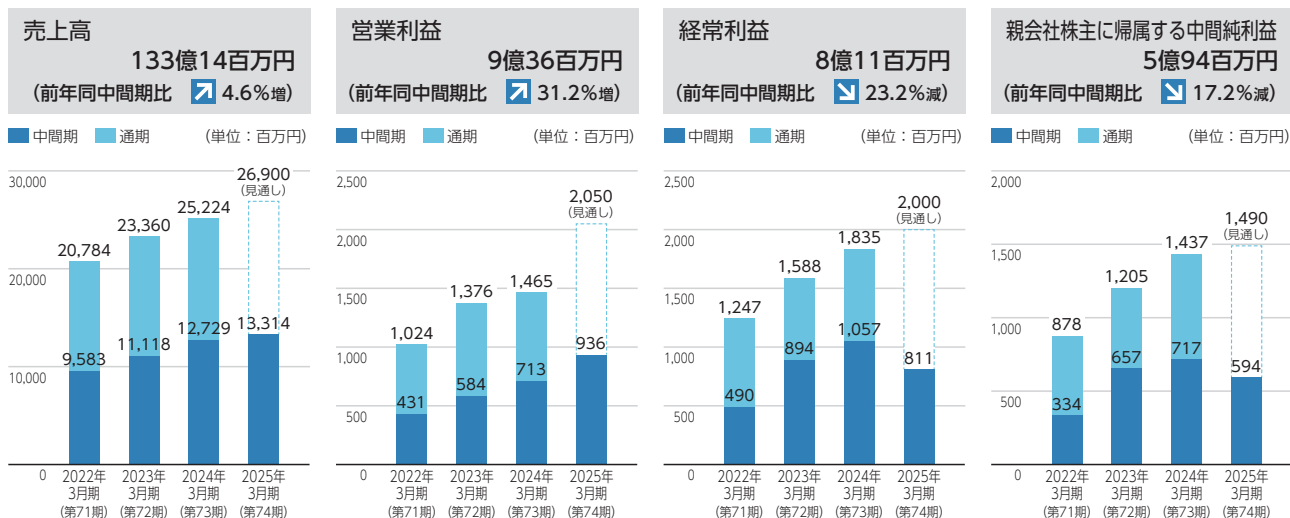
電源モジュール



スライドレール



ケーブルソリューション



2025年3月期 中間期決算のポイント

【売上高・営業利益】

前年同中間期比で増収増益となりました。主なポイントは以下の2点です。

- クラウドサービス&サポート:クラウドサービスのライセンス数積み上げ、保守契約の新規獲得
- システム:外資系企業のオフィス向けにセキュリティシステムの販売が伸長、グローバルの利益率改善

【親会社株主に帰属する中間純利益】

為替差損を計上した影響で前年同中間期から減少しましたが、営業利益の増加により、中間期予想の540百万円を上回り着地しました。

通期見通しのポイント

- 主にクラウドサービス&サポートの事業成長により、通期計画達成を目指す
- 1株当たり年間配当金は160円を予定(前年+2円)

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| 売上高 | 26,900 百万円 (前期比 6.6%増) |
| 営業利益 | 2,050 百万円 (前期比 39.9%増) |
| 経常利益 | 2,000 百万円 (前期比 8.9%増) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,490 百万円 (前期比 3.6%増) |



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第74期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の事業活動の概況をご報告申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長 井出尊信



Q 上期の業績はいかがでしたか?

今年度は「ニューノーマル時代における新たな価値創造」をスローガンとした中期経営計画2022-2024の最終年度にあたります。そして、当社が推進してきた持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、コア領域における高収益事業の拡大やサービスビジネスの成長及び新事業・新ビジネスモデルの創出の成果が見えてきています。

このような状況の中、当上期の業績は、クラウドサービス&サポート商品類のサブスクリプション型ビジネスの契約数の増加や大型保守契約の獲得に加え、メカトロニクス商品類の販売が好調に推移しました。売上高は前年同中間期比4.6%増の133億14百万円、営業利益は31.2%増の9億36百万円、経常利益は為替差損を計上した影響で23.2%減の8億11百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、17.2%減の5億94百万円となりました。

セグメント別の業績では、まず、クラウドサービス&サポートセグメントについては、増収増益となりました*¹。売上高は、MSPサービス*²やクラウド型ネットワーク商品の契約数の増加や、大型保守契約の獲得により順調に推移し、営業利益は、こうした理由に加え、売上高に対する販売費及び一般管理費の割合が下がったことにより増益となりました。

次に、システムセグメントについては、営業利益において、海外子会社で前期発生した追加工事に関する費用が今期は発生しなかったこと等により、増収増益となりました。リテールソリューション商品類では、GMS向け監視カメラ・顔認証システムなどの大型案件が好調に推移しました。ビジネスソリューション商品類では、外資オフィス、及びデータセンター向け入退室管理システムや監視カメラシステムが好調に推移したことに加え、メーリングシステムの納品も順調に完了しました。また、グローバル商品類は、防火システムにおいて収益性の高い案件に注力したことにより売上高は減少した一方で、タイのアパレル店舗向けのセキュリティシステムが好調に推移し、増収と

なりました。

最後に、デバイスセグメントの業績については減収減益になりました。これはエレクトロニクス商品類で、コンシューマ向け電子部品の販売が好調に推移するも、顧客の生産調整が続いていることによるものです。一方で、メカトロニクス商品類では、新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品や発電設備向け部品、複合機向け機構部品、及び自社開発したキッチン向け部品の販売が好調に推移しました。

現中期経営計画で掲げていた「新たな価値創造」に向けた成長戦略である「ロイヤルカスタマー戦略」、「サービスビジネスの成長」、「人材戦略などの経営基盤の強化に向けた取り組み」については、一定の成果が出ています。「将来のコア事業の創出」においては2024年8月に資本業務提携を実施しました。下期はこの取り組みを更に加速させていきます。

また、10月には当社が目指す社会や存在意義を示すパーパスを発表し、社員が同じ目標に共に向かっていくために必要となる社員エンゲージメント向上にも努めています。

まずは今期目標の達成に向けてスピード感を持って取り組み、これらの活動を軸として、その先にある更なる飛躍を目指したいと思います。

- *1 当中間連結会計期間より、クラウド型ネットワーク商品の実績を、サブスクリプション型の重要性が増したことを理由に、システムセグメント(ビジネスソリューション商品類・リテールソリューション商品類)からクラウドサービス&サポートセグメントへの集計に異動しております。
- *2 MSPサービス:クラウド商品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス



2024年5月に発表した高千穂交易奨学財団設立について教えてください。

2024年4月に一般財団法人高千穂交易奨学財団を設立致しました。当財団は関東首都圏の大学で最先端技術を学ぶ理工系大学生への奨学金の支給を事業としています。

当社は1952年の創業以来、“創造”を企業理念に掲げ、エレクトロニクスを核とした「技術商社」として、世界の先端商品をいち早く日本市場に紹介し、新たな価値を提供し続けることを使命としてきました。この先端商品の市場への提供には高い技術力が必要です。そのため、これまで社員研修やオンライン学習、資格取得奨励金など社内へのリスキリング推進に努めてまいりました。そして、これからの社会を考えた時に、高い技術力を持った技術者の育成も当社の使命であると考え、財団の設立に至りました。

近年、国際的にも持続可能な社会の実現を目指して社会課題を解決する取り組みが求められています。その中には、成績優秀であるものの、経済的な理由から就学困難な学生たちのことも含まれています。当社は事業による企業価値の向上に加え、そのような学生に対する奨学金の支給を通じて、将来、国際社会で活躍する技術者育成への一助として、社会貢献へ努めてまいります。



株主還元・配当方針についてお聞かせください。

当社は、中期経営計画2022-2024において、ROEが3期平均で8%を達成するまでは配当性向100%を維持することを基本方針としております。この方針は、当社の財務健全性を総合的に勘案したうえで、資本収益性ならびにバランスシートの改善を目的とするものです。

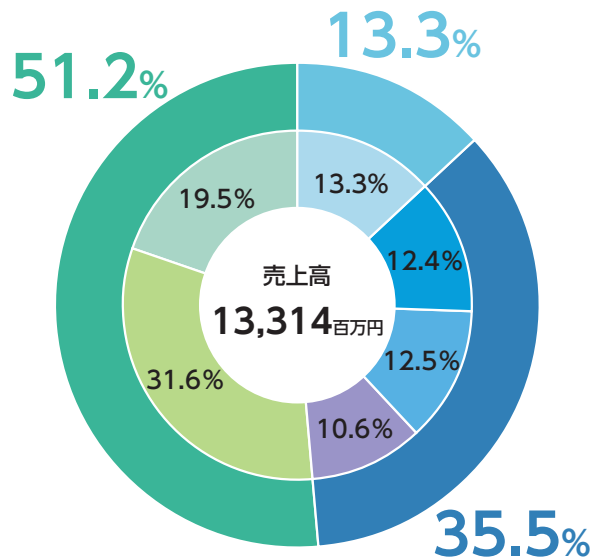
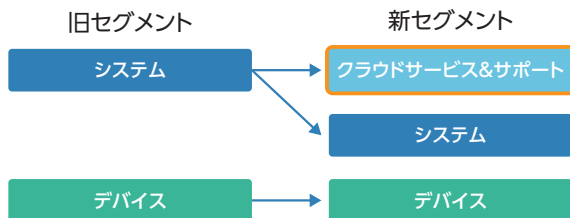
当該方針に基づき、2025年3月期につきましては連結業績予想に基づき、1株当たり160円(中間配当58円、期末配当102円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

2023年3月期より、「成長性」と「収益性」の観点から、クラウド型のサブスクリプション型サービスビジネス、保守事業を「成長事業」と位置づけ、クラウドサービス&サポートセグメントとして切り分けています。

また、当中間連結会計期間より、クラウド型ネットワーク商品の実績を、「システムセグメント」から「クラウドサービス&サポートセグメント」に異動しています。これは、当該商品の販売契約に占めるサブスクリプションの重要性が増したことに伴う異動です。



クラウドサービス&サポート

- クラウドサービス&サポート商品類

システム

- リテールソリューション商品類
- ビジネスソリューション商品類
- グローバル商品類

デバイス

- エレレクトロニクス商品類
- メカトロニクス商品類

クラウドサービス&サポート

売上高

17億73百万円

前年同中間期比

+48.8%



営業利益

3億86百万円

前年同中間期比

+71.3%



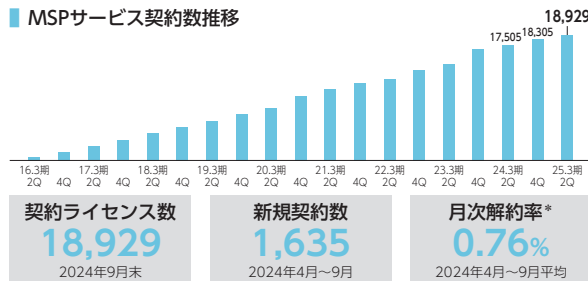
クラウドサービス&サポート商品類(前年同期比48.8%増)

クラウドサービス(MSPサービス*含む)、システムセグメント内の商品の保守

MSPサービスやクラウド型ネットワーク商品の契約数の増加、及び大型保守契約の獲得により順調に推移し、前年同中間期比48.8%増の17億73百万円となりました。営業利益は、上記理由に加え、売上高に対する販売費及び一般管理費の割合が下がり、前年同中間期比71.3%増の3億86百万円となりました。

*MSPサービス:クラウド商品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス

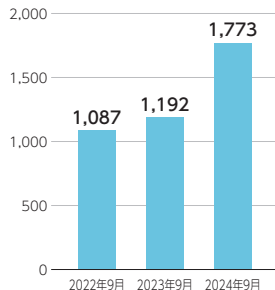
■ MSPサービス契約数推移



*月次解約率:1ヶ月の契約解約数÷前月末の累計契約数

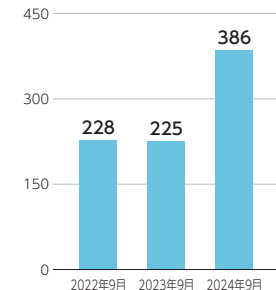
売上高(中間期)

(単位:百万円)



営業利益(中間期)

(単位:百万円)



システム

売上高

47億26百万円

前年同中間期比

+2.5%



営業利益

84百万円

前年同中間期比

+1億67百万円



リテールソリューション商品類(前年同期比2.0%増)

商品監視(万引き防止)システム、監視カメラシステム、顔認証システム、RFIDシステム、ディスプレイセキュリティシステム、システム構築

GMS向け大型案件が好調に推移し、売上高は前年同中間期比2.0%増の16億45百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類(前年同期比4.7%増)

入退室管理システム、監視カメラシステム、RFIDシステム、ネットワークシステム、メーリングシステム、システム構築

外資オフィス、及びデータセンター向け入退室管理システムや監視カメラシステムが好調に推移したに加え、メーリングシステムの納品も順調に完了したことにより、売上高は前年同中間期比4.7%増の16億67百万円となりました。

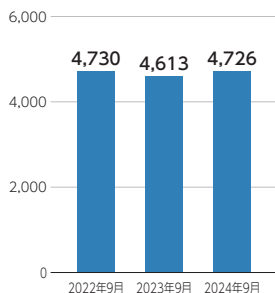
グローバル商品類(前年同期比0.4%増)

防火システム

防火システムにおいて収益性の高い案件に注力したことにより売上高は減少した一方で、タイのアパレル店舗向けのセキュリティシステムが好調に推移し、全体の売上高が増加し、前年同中間期比0.4%増の14億13百万円となりました。

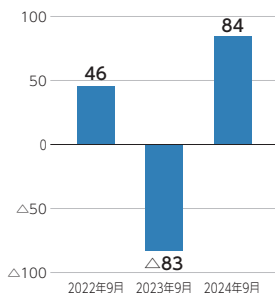
売上高(中間期)

(単位:百万円)



営業利益(中間期)

(単位:百万円)



デバイス

売上高

68億14百万円

前年同中間期比

△1.6%



営業利益

4億65百万円

前年同中間期比

△18.6%



エレクトロニクス商品類(前年同期比9.2%減)

半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

コンシューマ向け電子部品の販売が好調に推移するも、顧客の生産調整が続いていることにより、売上高は前年同中間期比9.2%減の42億11百万円となりました。

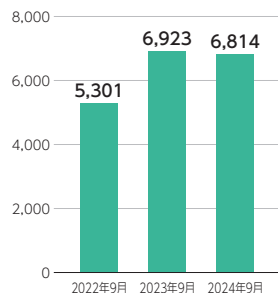
メカトロニクス商品類(前年同期比13.9%増)

スライドレール、ガスピリング、昇降システム、電子錠、ダンパーなど

新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品や発電設備向け部品、複合機向け機構部品、及び自社開発したキッチン向け部品の販売が好調に推移し、売上高は前年同中間期比13.9%増の26億2百万円となりました。

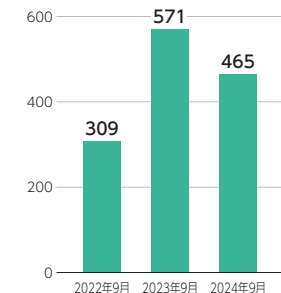
売上高(中間期)

(単位:百万円)



営業利益(中間期)

(単位:百万円)

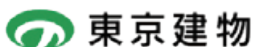


東京建物様のスマートフォンによるタッチ入退館・入退室システムに 当社提供のHID Global Corporationのクラウドサービスが採用

昨今、出社とテレワークを組み合わせたハイブリッドワークを導入する企業が増える中、企業での入退館・入退室に利用するセキュリティカードの管理は複雑性を増しています。その対応策として、東京建物株式会社様が国内の賃貸オフィスビルにおいて初めて導入した*、デジタルセキュリティカードを付与したスマートフォンでのタッチ方式による入退館・入退室を可能とするシステムに、当社提供のHID Global Corporationのクラウドサービスが採用されました。

本システムは、東京建物様がチームラボの協力のもとオフィスワーカー向けに開発するスマートフォンアプリと、高千穂交易が提供するHID Global Corporationのクラウドサービス、株式会社日立製作所の入退館・入退室システムを連携させることで、より高いセキュリティレベルを実現するとともに、QRコード提示やスマートフォンアプリの起動等なく、シームレスな入退館等が可能となります。

スマートフォンアプリ企画
オフィスご入居者様への提供



スマートフォンアプリ開発



総合型入退室管理システム「秘囀」の提供



タッチ入退館・入退室用クラウドサービス提供



*2024年7月31日時点、東京建物・日立製作所調べ。近距離無線通信技術を利用しており、QRコードを提示する方式やBluetooth Low Energy (BLE) 通信を活用する方式など、既存の方式とは仕組みが異なるものです。(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

【本システムの特徴】

- カードレスでのシームレスな入退館を実現
- セキュリティカードの紛失等のリスクや、管理の手間を軽減
- 環境負荷を低減、半導体不足にも対応



タッチ入退館等のイメージ

今回、東京建物様では、第1弾として、再開発組合の一員として参画されている「東京駅前八重洲一丁目東B地区第一種市街地再開発事業」のオフィスエリアにおいて本システムを導入されます。

当社は、継続的な連携に向けて、今後もお客様のニーズを理解し、更なるセキュリティ性の向上とオペレーション効率化の支援に努めて参ります。

当社は、変化が激しい世界においても、持続的な成長を実現するため、私たちが目指す社会や存在意義を示す「パーパス」とパーパス実現に向けた価値観及び行動基準である「バリュー」を新たに策定しましたので、ご紹介します。

技術の力と、 人へのやさしさで、 空間に「新しい必要」をつくる。

あなたがいる空間が、もっと安心できるものであってほしい。
わずらわしいことがなくなり、もっと自由に、スピーディーに、
自分らしく活動できる場所であってほしい。

それを実現するためには、
先端技術を価値あるものに高める、人へのやさしさが必要だ。

近い将来ふりかえったとき、
“これがない毎日はもう考えられない”
そう言ってもらえるソリューションを創造しよう。

「新しい必要」が生まれたとき、
生み出したのは高千穂交易であるように。

1952年の創業以来、まだ日本にはなかった電子情報機器を海外から取り入れ、日本国内でも使いやすいようにカスタマイズし、提供し続けました。国内ではその必要性が理解されるまでに時間がかかった製品も、今では多くの産業に欠かせないものになっています。この歴史を振り返ると、「**技術の力**」と「**人へのやさしさ**」の追求が、絶えず高千穂交易の根底にありました。

value
1

ニーズを発掘し先端技術を開拓する

お客様のことを考え抜き、潜在的なニーズまで気づく。
そして、必要な先端技術をグローバルなスケールで開拓する。

value
2

技術の力と人へのやさしさを融合する

先端技術をどう使えば人を幸せにできるか考える。
技術の力と人へのやさしさを合わせ、空間に「新しい必要」を創造する。

value
3

空間を変え、社会を変える

世界を見据え、挑戦し、時代の一步先を行くスピードで動く。
創造したソリューションで空間を変え、社会を変える。

策定の過程では、アンケートやワークショップを実施し、カルチャー発見や歴史・ビジョンの共有を通じて、社員が大切にすべき企業文化を掘り下げ、当社のDNAや強みを再認識することができました。

これからも、創業時から受け継がれてきたこの価値観を大切にしながら、すべての事業に通ずる領域である“空間”において、「新しい必要」となるソリューションを創造し、社会に新しい価値を提供していきます。

HP : <https://www.takachiho-kk.co.jp/purpose/>



技術の力と、
人へのやさしさで、
空間に「新しい必要」をつくる。



高千穂交易SNS公式アカウント・IRニュースメール

ニュースリリースや IR に関する最新情報をお届けしています。2024年10月よりX (旧Twitter)、Facebookを開始しました。

note



note



X (旧Twitter)



Facebook



IRニュースメール

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当中間期 2024年9月30日 | 前期 2024年3月31日 |
|----------------|--------------------|------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 19,048 | 18,887 |
| 固定資産 | 4,197 | 4,075 |
| 有形固定資産 | 439 | 459 |
| 無形固定資産 | 140 | 171 |
| 投資その他の資産 | 3,617 | 3,444 |
| 資産合計 | 23,245 | 22,963 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 6,010 | 5,407 |
| 固定負債 | 725 | 719 |
| 負債合計 | 6,736 | 6,127 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 15,110 | 15,464 |
| 資本金 | 1,209 | 1,209 |
| 資本剰余金 | 1,189 | 1,381 |
| 利益剰余金 | 13,572 | 13,938 |
| 自己株式 | △861 | △1,064 |
| その他の包括利益累計額 | 1,398 | 1,366 |
| 新株予約権 | — | 4 |
| 純資産合計 | 16,509 | 16,835 |
| 負債純資産合計 | 23,245 | 22,963 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当中間期 2024年4月1日～ 2024年9月30日 | 前中間期 2023年4月1日～ 2023年9月30日 |
|---------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 売上高 | 13,314 | 12,729 |
| 売上原価 | 9,958 | 9,762 |
| 売上総利益 | 3,356 | 2,966 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,420 | 2,252 |
| 営業利益 | 936 | 713 |
| 営業外収益 | 71 | 367 |
| 営業外費用 | 195 | 23 |
| 経常利益 | 811 | 1,057 |
| 特別利益 | 3 | 7 |
| 税金等調整前中間純利益 | 815 | 1,064 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 221 | 321 |
| 法人税等調整額 | △0 | 25 |
| 法人税等合計 | 220 | 346 |
| 中間純利益 | 594 | 717 |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 594 | 717 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当中間期 2024年4月1日～ 2024年9月30日 | 前中間期 2023年4月1日～ 2023年9月30日 |
|------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,552 | 1,262 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △434 | △79 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 43 | △986 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 130 | 161 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,292 | 358 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,871 | 4,509 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 6,163 | 4,867 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 会社概要

| | |
|--------|---|
| 設立 | 1952年3月 |
| 資本金 | 12億921万円 |
| 従業員数 | 250名(単体)、468名(連結) |
| 取引金融機関 | みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行 |
| 主要業務 | セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、メーリングシステム、ICタグ応用システム、防火システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス |
| ホームページ | https://www.takachiho-kk.co.jp/ |

■ 取締役・監査役

| | |
|----------------|----------|
| 代表取締役社長兼社長執行役員 | 井出 尊 信 |
| 取締役兼執行役員 | 平田 嘉 昭 |
| 取締役兼執行役員 | 植松 昌 澄 |
| 取締役兼執行役員 | 辰己 一 道 |
| 取締役 | 鶴岡 通 敏※ |
| 取締役 | 申間 和 彦※ |
| 常勤監査役 | 横戸 憲 一 |
| 監査役 | 千葉 彰 彰※※ |
| 監査役 | 木崎 孝 孝※※ |

(注) ※は社外取締役です。※※は社外監査役です。

■ 執行役員

| | |
|------|--------|
| 執行役員 | 高山 博 喜 |
| 執行役員 | 市川 大 輔 |
| 執行役員 | 田中 毅 則 |
| 執行役員 | 井藤 政 樹 |

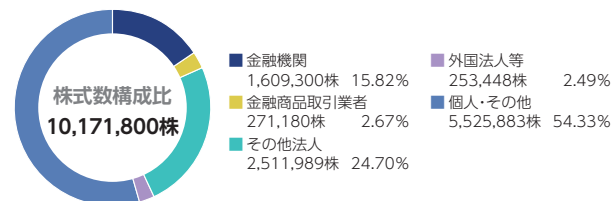
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 36,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 10,171,800株 |
| 株主数 | 15,414名 |

■ 大株主

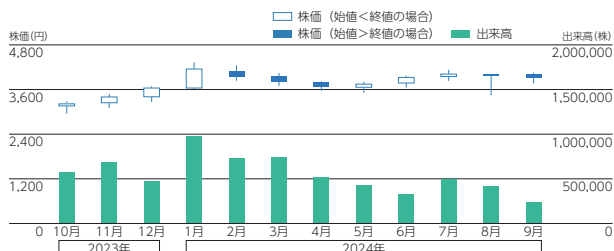
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 株式会社マースグループホールディングス | 804 | 8.59 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 685 | 7.32 |
| セコム株式会社 | 450 | 4.80 |
| 株式会社みずほ銀行 | 300 | 3.21 |
| 株式会社マーストークンソリューション | 265 | 2.83 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 216 | 2.30 |
| 一般財団法人高千穂交易奨学財団 | 200 | 2.13 |
| ヒューリック株式会社 | 200 | 2.13 |
| 高千穂交易従業員持株会 | 192 | 2.06 |
| SMBC日興証券株式会社 | 186 | 1.99 |

(注) 1. 当社は、自己株式814,816株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。なお、自己株式には役員向け株式給付信託に係る当社株式57,900株を含めておりません。また、持株比率は自己株式数を控除して算出し、小数第3位以下を切捨てて表示しております。
2. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、685千株であります。

■ 株式分布状況



■ 株価・出来高の推移



株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金
受領株主確定日 3月31日
- 中間配当金
受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711
(通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

【株式に関する手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関する手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のホームページより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

インターネットアドレス：<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.takachiho-kk.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
- 1単元の株式数 100株

株主様アンケート結果のご報告

前号で実施させていただいたアンケートにつきましては、多くの株主の皆様よりご回答をいただき、心より御礼申し上げます。お寄せいただきましたご意見・ご感想は、今後のIR活動に活かしてまいります。

ご意見のご紹介

- 業績期待、更なる株主還元を期待します。
- 今の配当利回りが維持できるよう引き続き頑張ってください。
- 物騒な世の中となり残念ですが、セキュリティ分野での活躍を期待しています。
- サイバーセキュリティはこれから100年の事業と思っています。同業他社といつも比較しながら見えています。
- エレクトロニクス事業の成長戦略に期待します。今後も応援しますので、頑張ってください。
- エンゲージメントが高い会社だと思います。配当性向100%は、凄いと思うし、従業員持株会の取り組みなど頑張る会社だなと思います。

アンケート結果の詳細はnoteをご覧ください。

https://note.com/takachiho_koheki/n/n0886098b9cbb



株主優待制度

毎年3月末時点で100株以上を所有している株主様に保有株式数に応じ「お米ギフト券」をお送りしております。



| 保有株式数 | 優待内容 |
|--------------|--------------|
| 100株以上200株未満 | お米ギフト券 2kg分 |
| 200株以上300株未満 | お米ギフト券 5kg分 |
| 300株以上 | お米ギフト券 10kg分 |



〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目6番1号
TEL 03-3355-1111 (代)
URL <https://www.takachiho-kk.co.jp/>

